

# 平成27年 有害物質による急性中毒等発生状況(確定)

北海道労働局

No.	発生年	発生日	時刻	業種	規模	災害の状況
1	27	2	7時台	鉄道・軌道業	50人以上 100人未満	被災者は午前5時から無人駅ホームの除雪作業に従事していた。午前9時すぎに駅ホームに隣接する倉庫内で倒れているところを発見された。 倉庫のシャッターは閉じられており除雪機のエンジンはかかったままの状態です。倉庫内は排気ガスが充満していた。 (一酸化炭素中毒・被災者1人・死亡)
2	27	3	22時台	一般飲食店	10人以上 30人未満	被災者は扉のない部屋で燃焼している木炭を七輪に移し、客席に運ぶ作業に従事した。帰宅後具合が悪くなり病院で一酸化炭素中毒と診断された。 部屋には給排気を行う換気装置が設置されており稼働していた。 (一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)
3	27	6	19時台	その他の小売業	10人未満	被災者は顧客のビニルハウス内でエンジンポンプの修理作業を行い、その日の作業を終えて帰社しようと自動車に乗り込んだところ、両手足がしびれて呼吸が苦しくなり救急搬送された。 (一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)
4	27	7	7時台	その他の繊維工業	10人以上 30人未満	被災者は地下ピットに設置された金属製タンク内(深さ2m、開口部2.9m×1.5m、内容積6.6m <sup>3</sup> )に入り、洗浄用の第2種有機溶剤を使用し、デッキブラシでタンクの壁と床を洗浄中、有機溶剤中毒で意識を失い、タンク内で倒れた。呼吸用保護具は着用していなかった。 (有機溶剤中毒・被災者1人・休業4日以上)
5	27	9	11時台	その他の設備工事業	10人以上 30人未満	(1次協力会社) 被災者らは工場構内で排水処理装置の屋外配管の洗浄作業(配管内部のスラッジ等を洗浄水により掻き出し除去するもの)を行っていたところ被災者らと2次協力会社の作業員1人が刺激臭を感じ体調の不調を訴え、急性ガス(硫化水素)中毒症と診断された。 (硫化水素中毒・被災者2人・不休)
				その他の設備工事業	10人未満	(2次協力会社) 被災者は工場構内で排水処理装置の屋外配管の洗浄作業(配管内部のスラッジ等を洗浄水により掻き出し除去するもの)を行っていたところ被災者と1次協力会社の作業員2人が刺激臭を感じ体調の不調を訴え、急性ガス(硫化水素)中毒症と診断された。 (硫化水素中毒・被災者1人・不休)
6	27	11	9時台	電気通信工事業	10人未満	被災者は建物地階ピット内で作業準備を行っていた。屋外では基礎コンクリートを打設した後にシートで囲い、練炭を燃焼させて養生を行っていた。建物から基礎コンクリートに電気用配管が接続されていたことから燃焼ガスがその管路を逆流し約2メートル離れた被災者がいるピットの中に流入し、「めまい」を感じたので退避したが回復しないので救急搬送された。 (一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)

## 平成27年 有害物質による急性中毒等発生状況(確定)

No.	発生年	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況
7	27	11	18時台	その他の事業	50人以上 100人未満	<p>被災者は午後5時頃にドライアイス8袋を社用車の荷台に積み、配送先の顧客宅に向けて会社を出発した。その日、被災者は会社に戻ってこなかった。翌日の午前7時頃、顧客宅前に駐車された社用車内でハンドルに頭がもたれ意識不明でいるのを近隣住民に発見された。</p> <p style="text-align: center;">(二酸化炭素中毒、低体温症・被災者1人・休業4日以上)</p>

合計	発生件数	7件	内訳	<p>一酸化炭素中毒            4件 4人 (死亡1人、4日未満3人)</p> <p>有機溶剤中毒            1件 1人 (4日以上1人)</p> <p>硫化水素中毒            1件 3人 (不休3人)</p> <p>二酸化炭素中毒           1件 1人 (4日以上1人)</p>
	被災者数	9人	内訳	<p>死亡1人</p> <p>休業5人 (4日以上2人、4日未満3人)</p> <p>不休3人</p>